

「ながら運転」撲滅に取り組む

丸尾興商（丸尾高史社長）は、配送トラックと営業車で約200台を保有している。重大事故防止の観点から社内を巻き込んだ「ながら運転」撲滅の取り組みを実施している。もともと事故発生率は低水準であったが、さらに事故削減を実現して自動車保険料の約5割削減に成功した。

社長号令により、ハンズフリー通話を含めた運転中の携帯電話使用を全面禁止した。また独自の標語「シゴトハイノチ」を掲げ、車両にステッカーを貼りドライバ―の周知を徹底。取引先に対してもちラシを作製して理解を得るよう働きかけを行った。

そのほか、AIDラレコを導入し、リスク運転を可視化して、運

転指導にも活用。安全運転が人事評価に繋がるようにすることで、ドライバ―のモチベーションが高まる仕組みづくりにも配慮している。

●丸尾高史代表取締役社長コメント

AIDラレコを導入当初は、監視されているとネガティブな意識が強かったが、評価点を社員の評価に繋げた。プラス点は評価に。マイナスは社長との面談、コミュニケーションを取ることで、安全運転の重要性を高めている。

◇審査員コメント◇

携帯電話の使用などによる「ながら運転」は重要な事故に繋がる要因となる危険なものであり、その撲滅をユニークなキャッチコピーとともに社外へ宣言する取り組みは、ドライバ―の意識改善だけでなく、安全運転意識を社外に伝播させる点でも効果が期待できる。

優秀賞

丸尾興商



〈企業プロフィール〉創業1951年1月、本社1静岡県島田市御飯屋町8753、社員数324名（男195名・女129名）※2025年3月1日現在、事業内容1管工機材・機械工具・住設機器・電機機器・空調機器・産業設備機器・電材・建材の卸販売および施工